

蟲譜圖說卷之九

化生蟲類 三

竈馬

アヒコウロゲ

促織

キリリス

蟋蟀

コウロゲ

莎羅

癩下コウロゲ

趨織

ツレサセ

紡績娘

クワロシ

蟬

青クワロシ

絡織

キリリス

ヤブキリス

金鐘兒

ノラキリス

朝舞キリス
サキリス

狗蠅黃

馬逐ロシ

虹孫

ワユロシ

金鐘兒

スロシ

金琵琶

コワロシ

狗蠅黃

クサヒバリ



ゴトス、鉦タキ 昆虫タキ

車バツタ

一種異斑昆虫タキ

斯タキ

吉吉バツタ

土タキ

ツチイナゲ

草タキ

ツユクシアリ

タキ

オホバツタ

撃タキ

ツユクシアリ

炸極

子ギ

アブラツユシ

イナブ

アブラ炸極

イナブ

化生虫類 四

蝗

吉丁虫

ブンブラ

クロ玉虫

金花虫

飛蛾

コガ子シ

金虫

黄餅

チヤギイ

金亀虫

胆類虫

ツオハジキ

叩頭虫

持確虫

ハナアブ

眉蝶 未詳

虫

ハナムグリ

黄虫

フイライ エキアブ

木虫

三年アブ

鹿虫

牛虫

ウシバイ

斐虫

扁前 未詳

コダラバイ

了了虫

ヒトサミアブ

トヲシバイ

アカバイ

テシコフムシ 多ホウアリ

カミナリ

蚊子

カ

豹脚

ヤブカ

ヲニカ

星キカ
アハレカ

カノウバ

蚋子

ヌカカ

蟻子

アト

黄蠅

シド

浮塵子

ウシカ

竹蝻

ワクモ

波子

竹蝻

アリマキ

蟲譜圖說卷之九

化生蟲類三

空龜馬

エビコウロケ
エニバコウロケ

イ井キリコ



一名 空龜雞

集解 時珍曰空龜馬處之穴空龜而居梅岡陽雞姐云空龜馬
狀如促織稍大脚長好空龜旁俗言空龜有馬足食之兆

此虫竈辺及陰湿孔中生ス形状促織ニ似テ大ニテ脊高ク
 玳瑁色ニシテ角甚長ニ羽ナシ鳴カス四時絶エズ

促織

キリキリス
 リンゴウロケ



一名 蟋蟀 蒼 蜻蛉

附録 時珍曰陰核詩疏云似蝗而小曰星色有光沢如漆有
 翅及角善闘好躍立粘液則夜鳴

夏至ノ比即ヨリ生ス形状翁斯等似テ星色初翅ナシ立秋

ニ至テ翅ヲ生ス黒色ニシテ光沢アリ漆ノ如ク善躍ル昼ハ
 瓦石ノ間ニ伏シ夜出テ鳴ク

蟋蟀

コウロケ



秘傳花鏡云蒼色秋氣而生形似蝗而小正星有光沢如漆有角
 翅ニ長鬚其性猛其音高善鳴健闘色有青星黃紫數種能

以青里者為上其相以頭頂肥脚腿長身背潤者善角勝

趨織

ツビレサセ



梅園子画帖引陸城疏云楚人謂之王孫幽州云之趨織里語云
趨織鳴嬾婦舊是也古名吉里吉里キリキリ斯スト云

莎雞

クツワロヒ



一名 梭雞 俗絲娘

陸城疏廣要引亦雅翼曰莎雞振羽作聲其形頭小而羽大有青
褐兩種率以六月振羽作聲連夜札札不止其聲如紡絲之聲
及一名梭雞今俗人謂之絲絲娘蓋其鳴時又正當絲絲候今
小兒夜亦養之聽其聲能食山芻之屬又云莎雞者似蝨斯莎

雞止而鳴非飛而動股者也

響

クツワムシ



大和本草引羅文集云 蟲響大無或誰知 鞭策是蒲葦恰似 蒼蠅附驥未但在口吻不在尾

又曰 蕪雜キリギリスニ似テ大ナリ色青シ頭小腹大ニ背ニ羽アリテ羽ノ 上如及六足アリ長角アリ尻尖リ鳴声紡車ラマリカ如シ

紡績娘

キリギリス アブラキリギリス



一名 紡績

咕胎兒

蕪雜

標雜 集解

秘傳花鏡云 紡績娘北人呼為咕胎兒 似昨蟻而身肥音似促織

而悠長其清越過之有好事者抽卷焉以小楷籠盛之掛於簷下

一種

ヤブキリ



和漢三才類會云按莎雜青色者多褐色者少蓋褐色似麻油故俗
名油莎雜聲最亮清古珍養之類中用甜瓜李或砂糖水冬亦

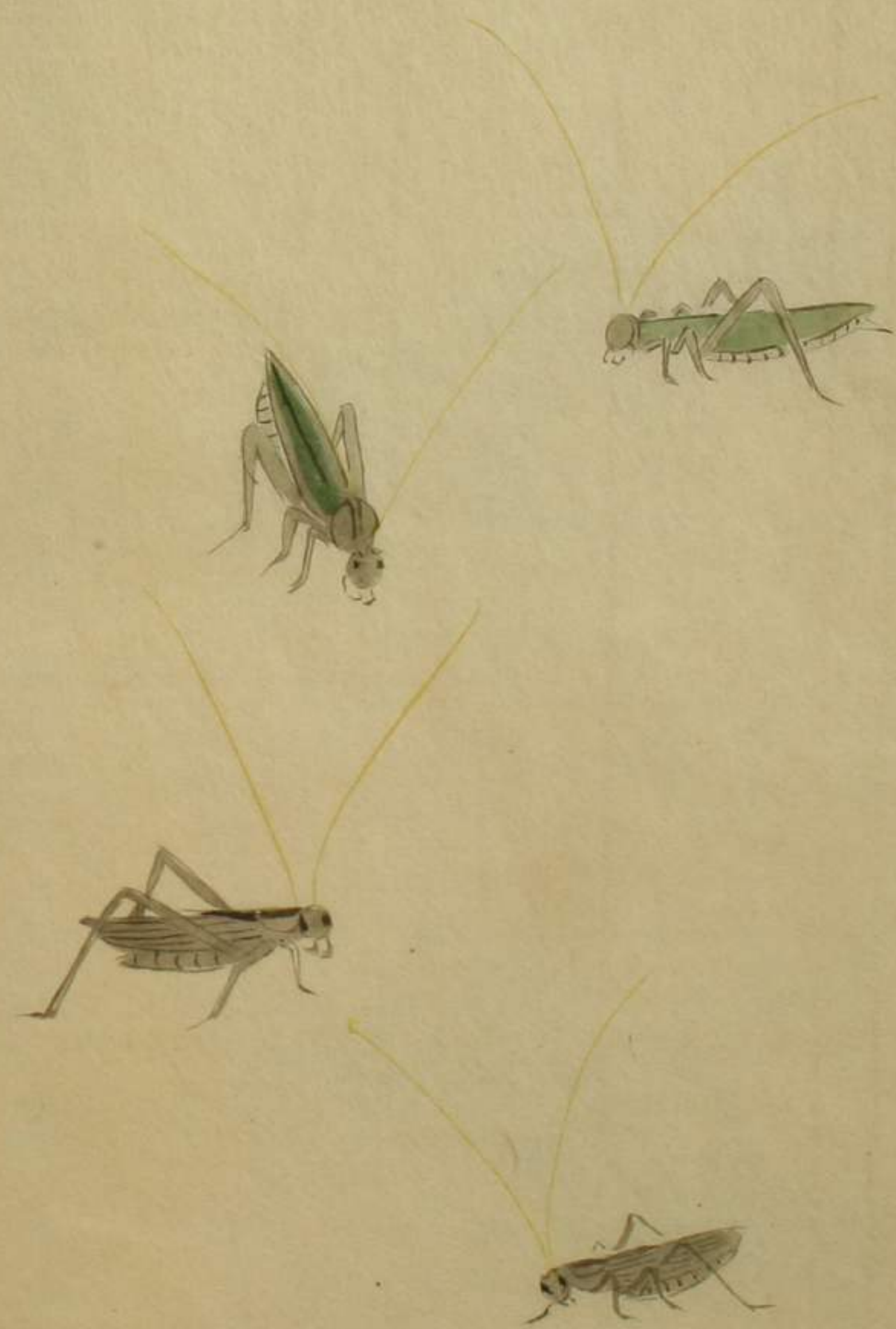
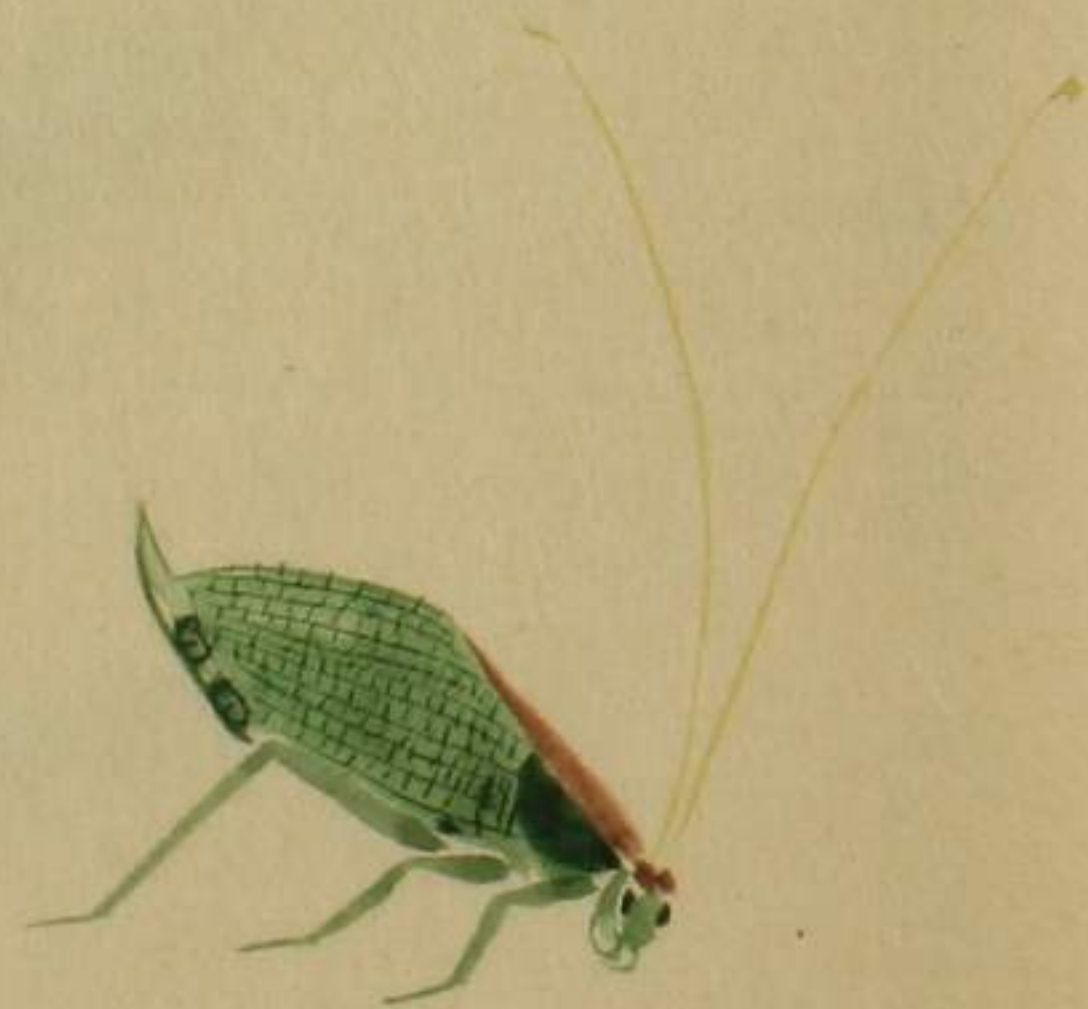
能防寒則經年岐星岐星須故名之一二声如打舌瓦有劍似帶
劍者俗曰多知不鳴

絡緯

ノラキリギリス



蘇輔通志云便腹青色以腹躍以翼鳴



狂絲



一名青裂

毛詩疏云立秋蜻蛉鳴白露下蜻蛉上堂

金鐘兒 スムシ



秘傳花鏡云金鐘兒似促織身黑而長鏡前豈後其尾皆岐躍者飛以翼鼓鳴其聲磴後之如小鐘然更間以紡績虫之聲秋夜間之猶如鼓鳴此蟲皆則鳴晚則止瓶以琉璃飼以青蒿亦照綴秋間之一即也不因其微而棄之

金琵琶

マツムシ



秘傳花鏡蟋蟀傳云金琵琶の年少兒年ニ飛ハ及ス里ヲ以テ松森トシ能クヲ以鈴虫トス延喜式ニシテコロシト鳴ヲ松虫ト云リシト鳴ヲ鈴虫ト云源氏物語後ハ是ニ及ス○延喜御用ニ月鈴兒ト云

狗蝇黄

クサヒバリ

ヤマトス、



秘傳花鏡蟋蟀傳云狗蝇黄又云クサヒバリト云コト、ヤマトス、クサヒバリ、シト、ヤマトス、千虫譜云自國深草中ニアリ小虫ナリ其声意外響リ連綿タテス雅音アリ假ニ長聲ト

金夕キ



梅園子蟲譜ニ註ト作ル澤名赤鮮此虫草叢及小竹ニ生ス
長サ三四分ニ過ズ確ハ背ニ褐色短翅アリ一分ハカリヤリ建テ
フルハハ声アリチラクト云故ニ金夕キト名ク雌ハ羽ナシ
身ニ箔アリテ衣ノ臭ノ色ニ似タリ

蟲 螽 車ハタ夕



秋名

負蟻

炸蝻

并有同名

蟻

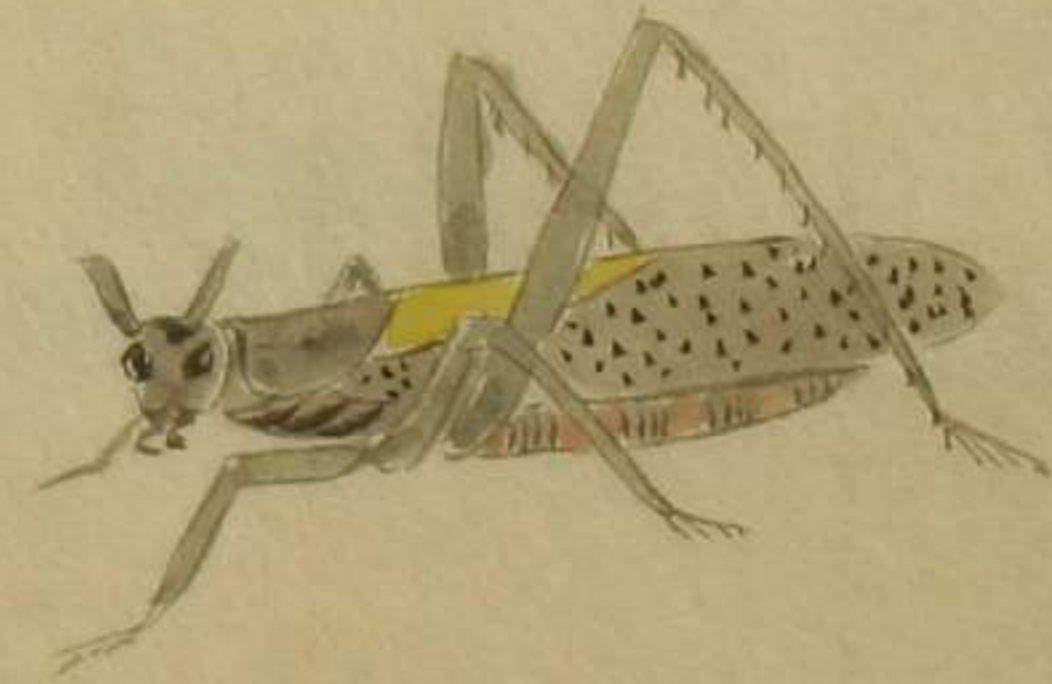
同

各新

詩集傳螽斯則浸修草蟲而別有一種

集解 螽者曰螽狀如蝗蟲月令云其類乳于土中澤蟻其
卵至夏始出 陸玑曰似蝗小斑黑其股似玳瑁

クルマバツタ



集解 藏者曰鳥龜有異斑者

嘉平七甲寅立秋十日園中啄草葉者捕得而寫真者也則斯蝻而赤經一脫者也全身諸色腹亦足刺梓角三分於脫之後又真寫

斯蝻

キキキキバツタ
大バツタ

一名蝗



詩經風七月篇云五月斯蝻動股○敬玄曰衍義云斯蝻蝗也
和漢三才圖會云五月斯蝻動股者是也其老者灰赤色里赤夫善
跳作蒼如曰吉吉○陸氏曰江東謂之作蝻

冬蟬類雖多仲夏羽ヲ生ニテ聲アル者蟬久也則斯久也惟此蟬冬
ヲ凌テ冬者有聲俗言此蟬鳴ノト然ラズ蟬久也詩斯蟬
ナリ

土蝻

ツチイナガ



ヌカツケバツタ
ヌカクソバツタ

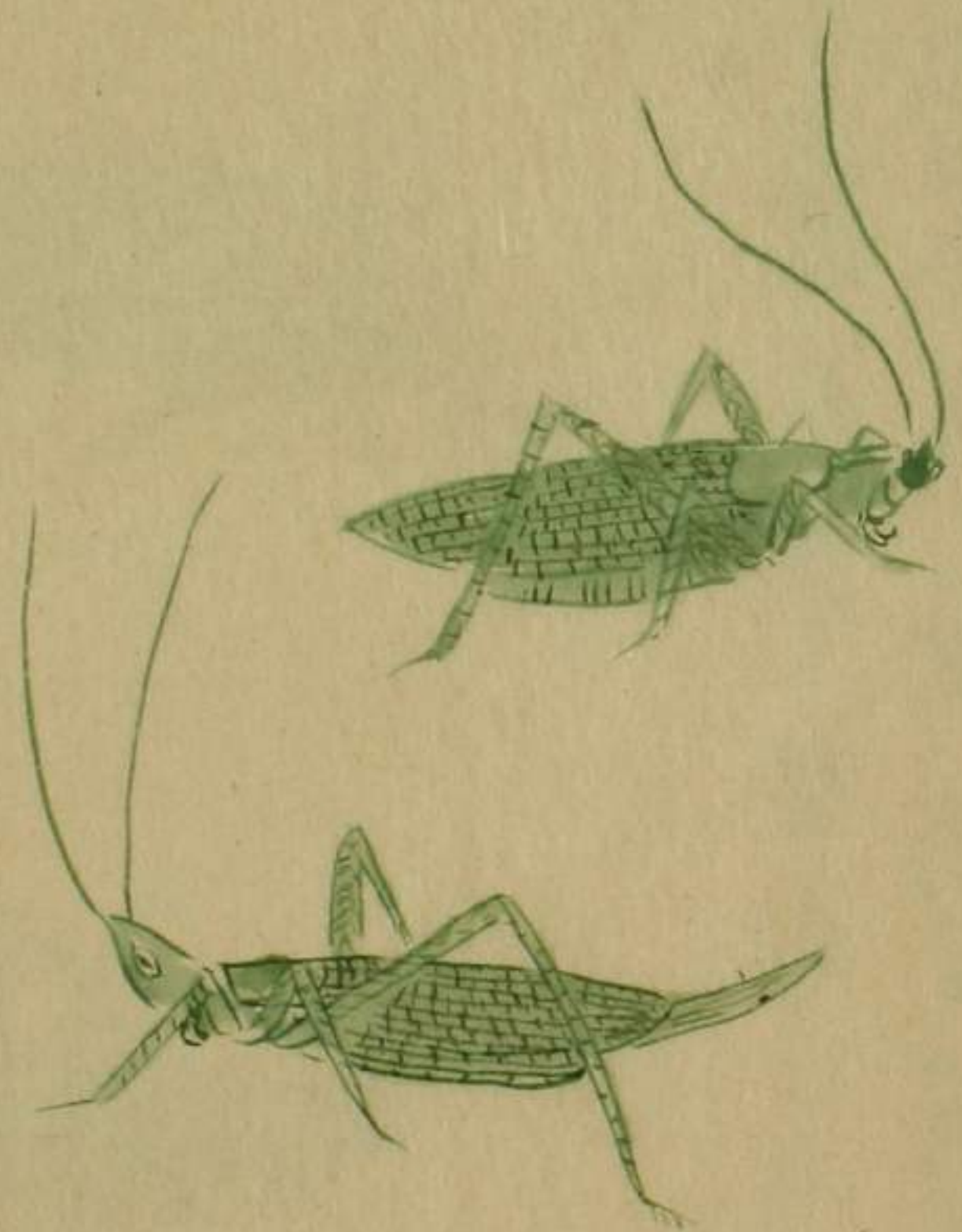


一名 蟻蟻 土標 此類

集解 時珍曰蝻蝻有土中者曰土蝻。形似莎羅灰色在田
野而躍地者即土蝻。陸機曰似蝗細小善躍曰蚱蟻不列有蚱蟻
与是不同

蟬

大ツユロヒ



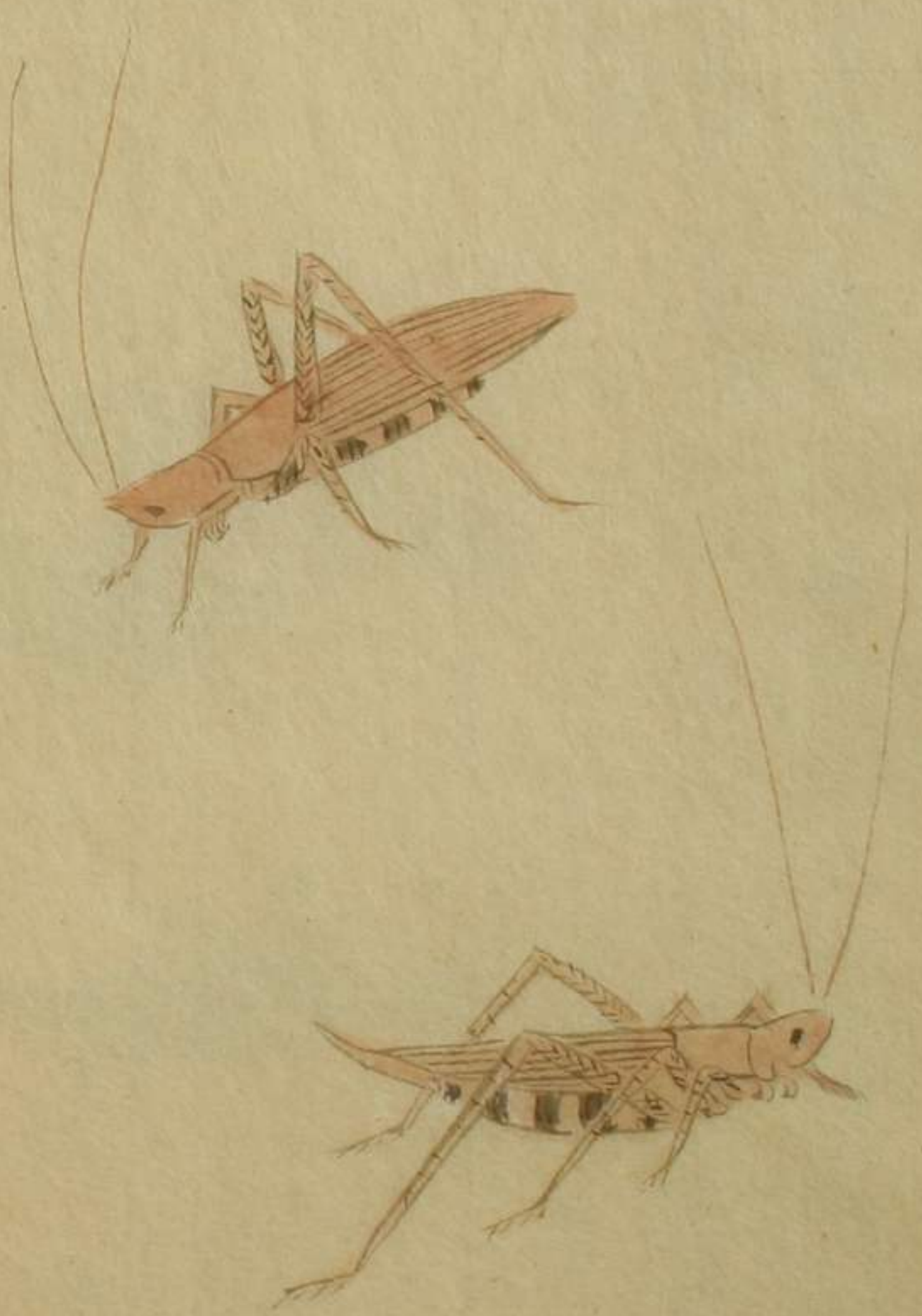
一名 草蟬 詩經

蟬斯 亦雅

斯蝻 与前存斯蝻不同

集解 時珍曰似蝻斯而細長者曰蟬。詩草蟬。屬奇音青色。又云蝻斯蟬屬長而青長角長股相切作聲

梅園子画籍ニ載ス是亦蟬類ニシテ唯色ノ変スル而已四時迄
 へズ三月始ヨリ暖ナル夜ハ鳴ク人皆言此虫鳴クト此類ニ非ス
 蟬姑ニ非ス此蟲ナリ大暑ニ至レハ鳴カズ此類クソハツタ



此虫田野度際皆有リ四時タニモ身長三分朔アリ灰色
 土上ニ跳リ草葉ヲ食フ三四月ノ間最多ニ植物ヲ食ヒ
 大ニ害ヲ為ス冬ニ蟄ス

草齧



負蟬 草齧



一名

集解 時珍曰蟬在草上者曰草齧

蚱蜢

秋名註時珍曰江東呼為蚱蜢謂其腹長善躍窄而極也



蝻斯

ハウリコ甲

集解時珍曰似草蟲而大者曰蝻斯



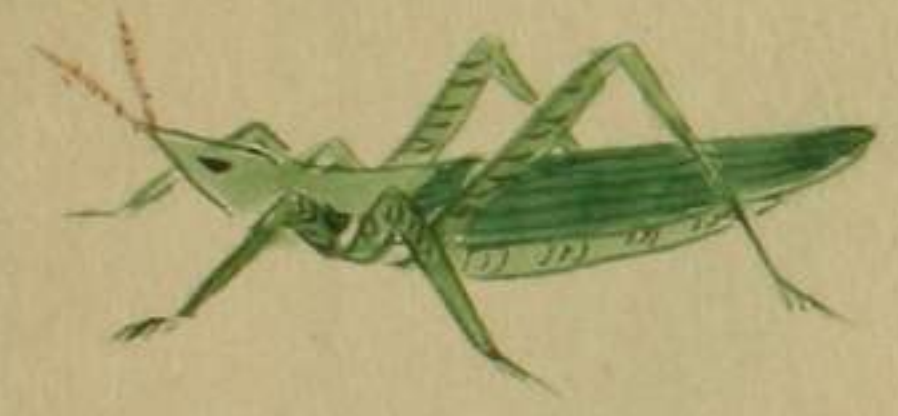
前條作蟻及此其身ノ色異ニテ元一物四月卯ヨリ生ニセ



ヲタケルニ



月ニ至テ羽ヲ生ニテ飛ヒ足ニテ翅ヲ勢ス其聲ギケキチト云
 詩幽風七月篇ニ五月斯冬始動股ト云嘉ニ形状及股ヲナラズ
 善充レ氏丑月ノ末夕羽ヲ生セサレバ鳴アタハズ蟬冬始ラ充レ
 氏羽ヲ振テ鳴ク虫ニシテ股ヲナラズ未終



和摩茅蟲今云按察蝻而小長一吋許青色尖首兩眼間廣但
 蝻斯兩眼間狹以之為異已具似社介者翼鳥帽狀故俗呼種宜



是亦形狀同フシテ身及翅斑又アリテ首尾紅色ナルモノアリ
 又淡褐色ノ者アリ共ニ六月ノ初ニ地中ヨリ出テ草木ノ嫩
 葉ヲ食フ物ノ害ヲ為ス又菊嫩芽ヲ食フ七月ニ至リ化シテ羽ヲ

生ス又菊ノ蕾ヲ噬時ハ正室ニガタシ多ク倒ニ向ヒ花葉ヲ
 俗ニ之ヲ的首ト名リ菊ヲ培養ス家甚之ヲ患フ

イナガ



大和本草云イナガハ蝻ノ總名ナリノ箱田ニ多ク生ス仲秋ノ
 比ヨリ腕ニ羽伸テ善リ跳ル鳴カズ小兒之ヲ捕ヘ矢テ

食フ病ヲ療ス蓋アリイ十虫ニ非スイ十虫ニハ蝗アリ亦此類
ナルハニホク其頭ニ王ノ字アル者又天ヲ飛フテ飛フ者ヲ
見ズ此虫箱田ニ生レ其甚ニク害ヲ為サズ

蝗 化生虫類 四

集解 時珍曰蝗亦金類大而方首首有王字珍氣所生故天
而飛性金聲北人炒食之一生八十一子冬有大雪則入土而

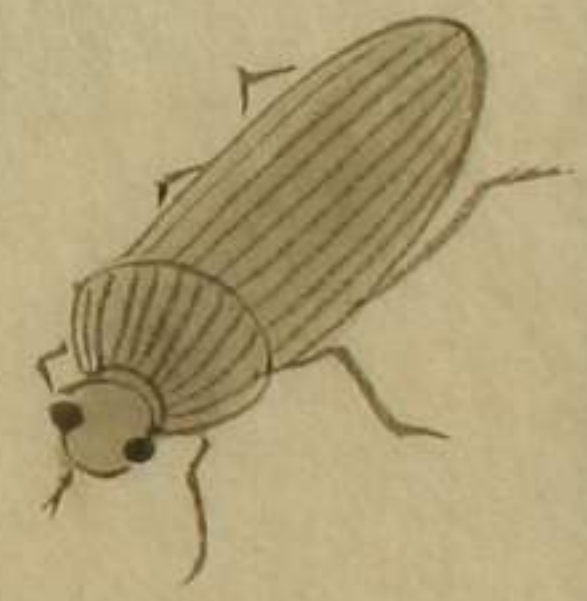
死

吉丁蟲



附錄 藏器曰甲蟲也背有綠有翅在甲下人取帶之令人喜好
相愛媚藥也○和隆考方術合信云玉虫是也婦人鏡奩納以
者媚藥歷年不腐雄者全身正綠光色從有二紅線腹赤
帶紅色潤沃可愛長一寸三分頗似蟬形扁小頭其頸有切界露

眼六足也雌者長寸許全体呈而光澤帶金色縱有同色
筋脈數行蓋雄多雌少



此虫林中ニラリ松露ノ化スル所ナリ怪人云則吉丁虫ノ
雌也ト和漢ニオ蜀人会云雌者長寸許ト云ク説ニ
ヨクアヘリサシト吉丁虫ノ雌ハ甲ニ縱脈ナリ銅紅錯
金光アル彩文アルハホト決セス

金花蟲

ブンブラ カケイ目
イミブイダ ブイブラ
録

毛三蛾

コカ子ムシ
ブドウ

ウミブリ
ルイキキリ
美



附錄ニ雌浮山疏云山人金花虫大如斑蝥文采如金花形似龜可養
玩數日○廣東新語曰金花虫大者如斑蝥有文采其背正綠
如金貼有翅生甲下一名綠金蟬喜藏朱槿花中一曰相文
大和本草云飛蠶俗ニブドウト云モ又ウミブリト云此虫大カ刀

豆ノ如ク甲アリ内ニシテ爲ク其行亀ニモ似タリ甲綠金
 色ニシテ光澤アリ今通ニテ黃金ト云モノヤリ
 ハ玉中ニ伏シ夜飛テ燈花ヲ拂フ故ニ暮光ノクアリ
 形状文采金花虫ニ相似ク然レモ其以下皆蠶類
 化んモノニシテ蜻蛉類ノ化んル者ニ非ス此虫蜻蛉腹端ニ化
 シテヨリ再化此蟲トナレハ同類ニ非スヤ否未決記ニテ諸
 君ノ高説ヲ乞フ

金蟲



媚蝶

附錄 時珍曰北ヲ錄云嶺表有鷓子草蔓上春生双食
 葉收入粉奩以葉飼之老則脫而爲蝶赤黃色女子收而帶之
 如細鳥皮令人媚悅婦者媚蝶○二如鳥群芳譜鷓附
 錄載之最詳也
 細目錄云系群引何宜記云漢武帝時勒星國獻細鳥
 大如蟬狀如鷓鴣ト云是亦未詳

蚤

ハチアグ



集解 弘景曰此蚤狀似蚤而小不吸血近道草中不見
有之市人亦少賣者方家惟用蜚蚤耳

叩頭蟲

ハタオリムシ カチタキ コメツキムシ
ガツテムシ カツキムシ



附錄 時珍曰其大如斑蝥而黑色其後則叩頭有聲
能入人耳灌以生油則出

四時共ニアリ小ナル者長四五分全身黑色頭尾共ニ地ヲ叩テ
米ヲ着親ニ似タル故ニコメツキムシト名リ

持雄蟲 揚州府志

キキムシ 美作
ツメハシキ 讃岐
コメフミメシ



綱目叙説云背ニ堅キ羽アリ大ナルハ八分許小ナルハ二
分許弱ヲ稱スレハバイバイト鳴リ米ヲフムガ如キ音
アリ又小ナルホヲビテ身ニ觸レハ能顛ス色黒クキ
アリ又灰色ナルアリ

粵西偶記云七八月之交有金龜虫大如豆頭甲足尾宛然龜
也色如赤金多生扁豆葉上亦善飛
綱目叙説云金龜子二種アリ李時珍初説リ好ハ此コカ子虫
也又北戸録ヲ引テ白金龜子甲虫也ト是ハ別ナリ和名金龜ト
云者ニシテ形同フシテ同ク小ニ徑僅二三分許全身金色ニシテ
背ニ黒キ文アリ比叡山ニ多シ又吉田山ニモ多シ方言ゲンガサ虫
トス此北戸録ノ金龜子ナリ
千虫譜云只甲上透明ニシテ雲母ノ如ク四處黒ク中央金
色殆モ全金也似タリ故ニ金龜子ノ名アリ

腆 穎 蟲

チヤブイブイ
ウシブイブイ



附錄 藏書日出嶺南狀似鼠盤褐色身扁帶之令人相愛也
彼人皇之
綱目說說云是ハ茶褐也ノコガ子虫ナリ幸ト出雖トハ誤ナリ

附錄 金龜子註部記註云利州山中有多金虫其体如蟬
綠色如泥金但人取作婦女釵簪之飾
此箇梅園子虫譜ニ載タル所ノ多識篇ヲ引テ亮著虫和
名アラハニメウニ亮ル虫其形蟬贏ニシテ全身緋綠金光アリ
則部方物略記ニ謂フ金龜ノ形状ニ相似タリサレ此虫亦多
シ初夏ヨリシテ秋ニ至ルニテアリ

蟻 蟬

一名



蟻

金 龜



金 龜 子

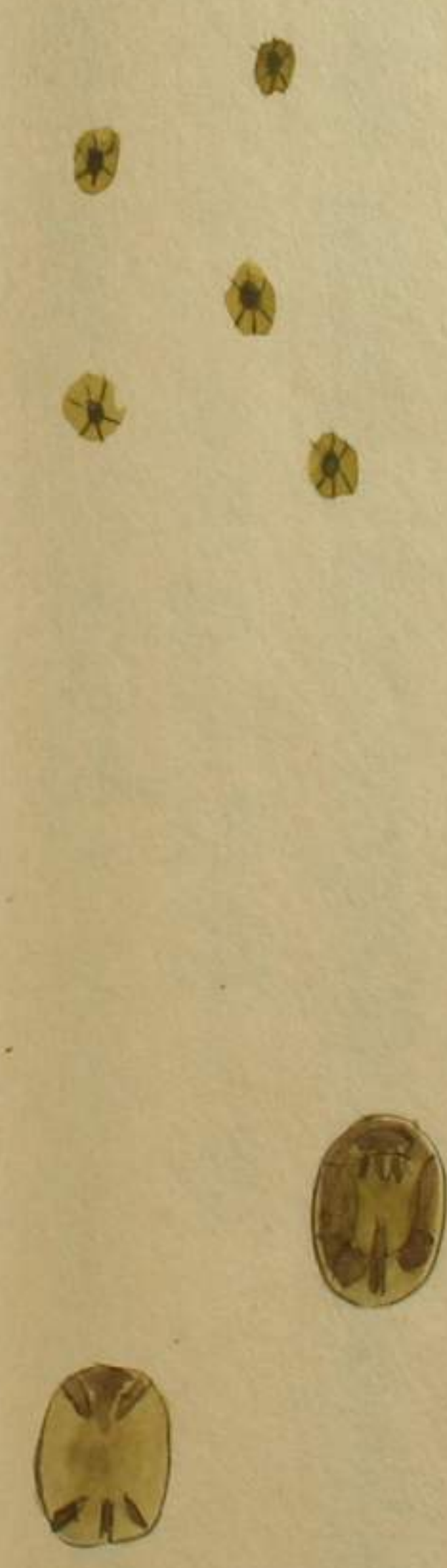


附錄 時珍曰此亦吉丁之類媚藥也大如刀豆頭面似鬼
甲黑硬如龜狀二角○產物類纂云俗云玉虫者前後三吉丁
虫而非是蟲

綱目記說宋益部記金龜爾雅之蛟蟻也以上三名皆李時
珍說之所金龜子別名ナリ又甲虫ハ北戸録ノ金龜子ノ
名也此虫全身呈色ニシテ澤星ノ縱肝多ク角長ク金光アリ

金龜子 キニガサハシ

頭微鏡



黃蟲 類書 纂要

ブイブイ 論

サラサハナアグ



綱目記說ニ草ニ蟲トモフハアブノ類名ナリ花アグノコト
ナリ花蟲ハ藥用ニ用ヒス凡テ獸ニツクアグハ花ニハ寄ラヌ
モノナリ是花アブノ一種俗ニドミアフト云花アグヨリ差大ニ
シテ黒色腰間ニ白黄二道アリ草木ノ花ニヨラス又高ク

飛ハズ常ニ地上ニ居テ人影ヲ慕フ地上ニ徘徊スル一類
ノ如ク一類類ニ紅矣アルモノナリ

ハナムグリ



一種花アグ秋深ク菊花衰リトキ来テ花ノ莖ヲ嚙フ夜ハ
莖ノ間ニ伏ス卵ヲ子床ノ類ニ生ス數日ニシテ卵化シテ
蛆レナリ蟹ニテ子床ニ至ル大雪ノ後枯碎ヲ揮ニ視ル蛆蠅

トナル者アリ春ニ至テ化シテ花アグトナル

ハナアグ

ツリアグ
サカリアグ

ツツンバイ
ハ



廣東新語云塔子中多有小虫亦皆寄母木也

此虫小シテ蠅ノ如シ果中ノ虫ノ化スル者ナリ蛆ノ類
多クモ亦他ノ
ツリアグ亦蛆類ノ化スルモノナルハニ未タ其他ヲ見ス

木蠹

三年アブ
大ウミハイ



一名 魂常

集解 恭曰古有数種並能吸血揚浙以南江蘇間大有
木蠹長大綠色初如胡蝶啞牛馬或至顛仆

鹿蠹

人ヤアブ

トナル者アリ春ニ至テ化シテ花アワトナル

牛蠹 ウミハイ



皇朝台湾府志云鹿蠹大如蠅大抵能治血五月採腹有血者
大和才草云牛馬ニツキテ血ヲ吸フ牛馬甚恐ル人ヲモ食
ハバ痛ムト云

集解 恭曰一種小者名鹿蠹亦名牛馬蠹大如蠅牛馬亦極

蜚蠊

アタムシ 大福
トウミハイ 魚川
南部



一名

蜚蠊

蠹氏 韻稱

益外

柳葉 本草

集解 卷曰蜚蠊狀如密蜂黃黑色今俗多用之弘景曰此即方
家所用玄玄吸牛馬血者

綱目 狀說云大抵玄長寸四分許密蜂形如頭綠
色ヲ帯フ金棘灰色ニシテ微シ黃色ヲ帯フ腹凹ニシテ尾ニ牛馬

洞ノ亦人ヲモ害ス嘴銳利ナリ花ニハ絶テツカヌ者ナリ

マダラハイ
コウヤヒジリ

クサハイ



蠅ニ程ニシテ蜚蠊ニ似テ毒毒アル者澤名和名并殺兩
虫ヨリ夏至ニ至ルノ間日中甚多シ朝夕ハ伏ス人ヲ見レハ排
細ニテ眼前ヲ妨ケ行リ先ヲ翔シ人ノ鼻ヲ吸フ蟲去テ後腹痛
ニ腫テ大豆ノ如シ山椒ヨリ其毒ヲ解ス○又クサハイアリ 蠅花

瘧子ニ似テ差大ナリ亦穀雨ヨリ出フ人ノ血ヲ啜フヤレドモ
マカラバイノ害ヲ為ル如キニアラス

麻蝇一種 小バイ
ムマバイ



田野ニ多シ状ハ黒蝇ニ似テ差小ナリ飛テ疾ク人ヲ見レハ
集リ来テ血ヲ啜フ又牛馬ノ血ヲ啜フ馬ニ此蝇ツケバ瘡ル名亦詳
形状ハ全ク麻蝇ニ異ナルナシト云モ只小ナルヲ異トス又蝇瘡
載スベキヲ玄類ニ載ルハ血ヲ啜フ非玄ノ如キヲ以テナリ

扁前 アカバイ



附録 別録有名者用曰味日有毒生上段中状如牛瘡赤翼
五月八日採用之

綱目訣説ニハ未詳トシ醫家道ニハ亦瘡ヲ以テ扁前トス未
穂又梅園氏画帖ニ屎之瘡アカバイ此虫好テ糞ヲ食ト云者

形状高前ニ此ニ暫載セテ高説ヲ云

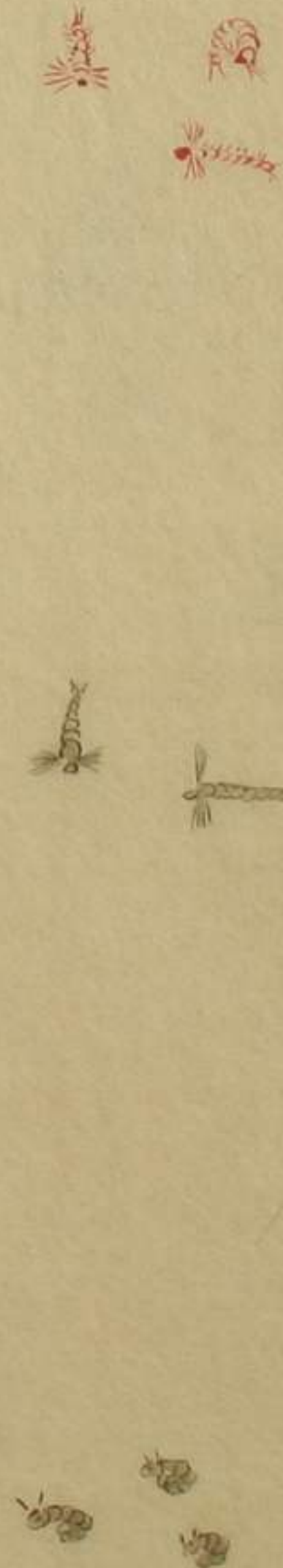
子子蟲

テニカウシニ備
シリフリ
上

打卷組

千五クロボウフリ
カミナリ
昔カボウフリ

附録 時珍曰蚊産子テ水中有子子虫後变为蚊
細目説云腐水ヨリ子子虫ヲ生シ他ニテ蚊トナル子子虫初ハ
釘ノ如リ首アリテ一方細キ尾ニツミタル化シテカミナリト云蟲



トナリアリミナリ化シテ蚊トナル

蚊子

カ



一名

聚蟲典籍
便覽

辛螿串物
細珠

當民上日

白鳥

暑蟲

附録 時珍曰蚊處之有之冬蟄夏出昼伏夜飛細身利喙
啞人膏血大者人害一名白鳥一名暑蟲或作蒼民謬矣
時珍曰化生于木葉及燻灰中産子于水中

豹脚

ヤブカ



一名

花蚊 事如 研珠

附録 時珍曰 龜龍畏之 嘗大蝙蝠食之 大和本草云
豹脚 ヤブカナリ蚊ヨリ大ニシテ足ニ斑アリ 昼草河ヨリ出
テ人ヲ咬ヨリ 人ヲ害スルノ甚ニ 腫テ瘡トナル
夜ハ出テズ

カモドキ



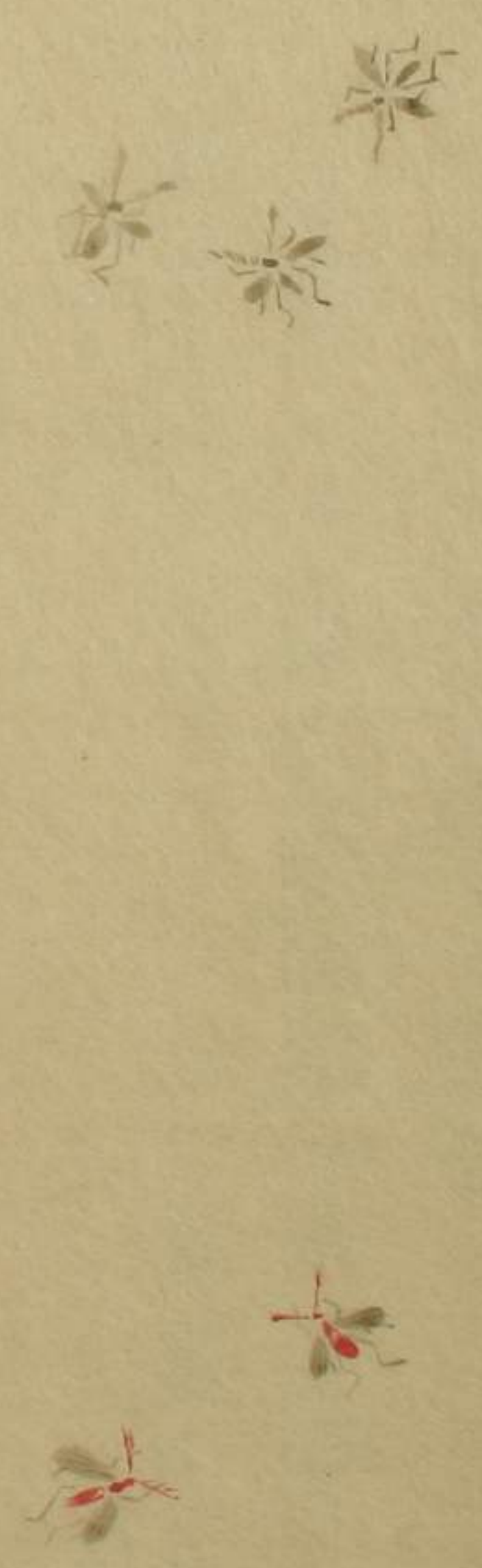
頭微鏡



梅園子画譜云 カモドキ 至テ小サリシテ 採得カガタニ障
子ノ紙ニヒソニ居テ 見エ難ニ 顕微鏡ヲ用テ 視ルニ 其
形状 蚊ト全ニヤレドモ 人ヲ害セス 秋深クシテ 出ルバハ
蚊ヨリモ 差小ニシテ 弱ク 人ヲ害スルナシ

オニカ

サミタシカ



牛虫齋云蚊子オニカ圖考フルニ日入テ蟻下ニ集リ人家ニ
入テ人ヲ齧ス者皆蚊ト名リト云モ其中又大小急鈍ノ
異アリオニカハ子虫ノ黒色ニシテ釘ノ形ノ者老テ羽化スル
者ナリ初脚ニ似テ差小ナリ尤多クサミタシカハ赤ク

羽褐色ノ蚊アリ四月比蚊ノ出ル初ニ出ル

黒ヤブカ

アハレカ



黒ヤブカト云者脚長クシテ丈高ニ蚋子ヨリモ齧毒甚
ニ竹叢ニ在リ脚ニ黒白ノ斑ナシ
アハレ蚊俗ニアハレ蚊ト名クル者アリ八月出ツ小ニシテ

甚毒飛來テ乍々人血ヲ啗フ之ヲ掃ハハ死シテモ去ラズ其
 取眉奈テ花ノ如シ其蚊何處ノ化タルヲ知ラズ



大和草虫類條ニ出ス米蛆ハ白リ長シ夏月米穀ノ中ニ多ク
 生ヌ又衣服器物ヲモ食フ羽化ス遠ク飛ハズ依ニ蚊ノウバ

ト云凡蟲未殺中ノ蛆化タル者ヲ見ス粟ノ朽木皮ノ蟲老テ
 完ヨリ蛹ノ頭ヲ出シ背裂テ此虫ヲ生ス初メ蒼白色羽翼伸
 ビテ身淡黒ニ変ス後飛去ル其蛹取出シ視ルニ長サ二寸
 余ノ殼ナリ足ハ朽木蠹ノ化タル者ナリ一種午蟲譜ニ載スル
 所ノ青白色ノ蚊ナリ偶々人ヲ害ヒス此虫蚰子ノ大ナル者ナリ
 蘭山翁ノ談説ヲ考フヘシ

蚰子

マカ蚊

蟻子

フド

附錄 時珍曰粟元稹長慶集云蜀中山蚊名蚰子又小而黑
 者皆蟻子微不可見与塵相浮上下者



綱目詠説云形状似同フミテ小ナル者アリ大ヤ僅二分許
 黄白色者アリ綠色者アリ秋多シ桐子ヲブドト訓タルハ
 方訓ナレドモ本館切テラス小而黒者為蝶子是ブドニ充
 テ可ナリ至テ小ニシテ黒ト見人ヲ毒スルモノナリ
 考フルニブドハ田野甚多ク小ニテ見ルハカラス人ニトリワキ
 血ヲ啞フ其人知ラズ血腹ニ盛テ飛去ル其瘡大豆ノ如ク
 腫興リ瘡フミテ忍ハカラス唯血ヲシボリテ母ニ其血膿ニ似テ終
 五厘如ニツ水黒色蚊ノ羽ノ如シ



海名事詳俗ニシドリ号ク竹山毒ノ化ルアリ小豆毒ノ化ル
 モノアリ其色身長ヤ一分余頭ハ天牛類ニ似タリ黒色甲
 マリ善能飛ト云人ヲ啞バ人ノ皮肉破ル

浮塵子

ウニカ
 タムロ

黄蠟

ワリモ

一名 塚 鉾山 縣志



附錄 時珍曰後奇見与塵相浮上下者為浮塵子皆果干
 已蛇鱗中能透衣入人肌膚成瘡毒人極苦之惟鳩柳葉
 傳之則痛 又祝穆方輿勝覽云雲南烏蒙峽中多毒蛇鱗中

有藥名黃蠅有毒靈人成瘡但勿按以冷水沃之擦鹽少許即愈
 此藥初メ鳥ノ羽ニ生シ盛ナルハ人ノ身ニツキ警毒アリ甚瘡
 ニ見シト細ニシテ石可見水詔ヲ以テ紙ニ塗シ側ヲ置ケバ
 皆詔ニ集ルヲ弃テ勿シ

没子

重修台灣府志云海舟夜眠潛伏船內尚喜無蚊至臺地四特皆受
 其害更有不見石間而去竹刺愈批按則愈瘡因小紀云國地有
 小蟲若微塵視之不見刺人較蚊蚋尤甚惟亦不能聞之名没子

竹虱

アブリマキ 京
 アブロシ

アモコ 備
 前



一名 竹佛子 天厭子

集解 時珍白竹虱生諸竹及草木上皆有之初生如粉
 便能動百千成簇形大如露文蒼灰色

綱目詠詭云竹ニ附ラス草木ノ嫩枝ニ生ス凡通サスニテ
 鬱蒸タル所ニハ必多ク色青キアリ白アリ黒アリ赤隆ノ形
 狀ハ白色ノモノヲ云ク久ラミテ羽ヲ生シ下能フ片白粉ニアリ
 又羽生カスニテ大サ米粒ノ如キアリ又尾婦ノ如ク背白キアリ

凡テアグラニシ皆分母ニ

